

子らの笑顔、みんなの宝 “かたの”子育て応援プラン

—交野市子ども・子育て支援事業計画—



平成27年3月
交野市



はじめに

子どもはかけがえのない存在であり、まさに“地域の宝”です。次代を担うかけがえのない、“交野の宝”である子どもたちが、この自然豊かなまちで、健やかに元気いっぱいに育つことができる“まちづくり”が望まれます。



しかし、深刻化する少子化は、核家族化のより一層の進行や地域のつながりの希薄化などにより、子育てに対する不安や孤立感、また、女性の社会進出による共働き世帯の増加や就労形態の多様化に伴い、家庭・仕事・子育てのバランスの均衡が保てず、生活負担、育児負担につながる事等が大きな要因とされており、子育てをめぐる諸課題は、若い世代、子育て世代に大きな影響を与えています。

国では、少子化対策として次世代育成支援対策推進法に基づき総合的な取り組みを進めてきましたが、子ども・子育てを取り巻く社会情勢の変化を受け、平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」を成立させ、「子どもの最善の利益」が実現される社会をめざすとの考えを基本に、子どもの幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、保育の量的拡充、地域の子ども・子育て支援の充実等を総合的に推進していくとした、新たな支援制度を構築しました。

このような背景のもと、この度、「子らの笑顔、みんなの宝“かたの”子育て応援プラン ～交野市子ども・子育て支援事業計画～」を策定いたしました。

本計画は、これまで本市の子育て支援施策として進めてまいりました、交野市次世代育成支援行動計画を継承する計画とするとともに、新制度に位置づけられる計画として、“かたの”で子どもを生み、子どもを育てることへ喜びを感じ、子どもが夢と希望を持って健やかに育まれるまちをめざし、今後、子ども、子育てに関する様々な施策を総合的に推進してまいります。

策定にあたりましては、長期にわたり御審議いただいた「交野市子ども・子育て会議」の方々をはじめ、ニーズ調査及びパブリックコメントにおいて御協力、御意見をいただいた皆様に、厚く御礼申し上げます。

平成27年3月

交野市長 黒田 実

目 次

| | | |
|-----|---------------------------------|----|
| 第1章 | 計画策定にあたって | |
| 1 | 計画策定の背景 | 1 |
| 2 | 計画の性格と位置付け | 2 |
| 3 | 子ども・子育て支援新制度の概要 | 3 |
| 4 | 計画の期間 | 6 |
| 5 | 計画の策定体制 | 6 |
| 第2章 | 交野市の子ども・子育てを取り巻く状況 | |
| 1 | 人口等の動向 | 7 |
| 2 | ニーズ調査結果の概要 | 23 |
| 第3章 | 次世代育成支援行動計画（後期計画）の主な取り組み状況と課題 | |
| 1 | これまでの子育て支援施策の取り組み | 31 |
| 2 | 特定事業の事業実績 | 32 |
| 第4章 | 計画の基本的な考え方 | |
| 1 | 基本理念 | 43 |
| 2 | 基本目標 | 44 |
| 3 | 施策の体系 | 45 |
| 第5章 | 施策の展開 | |
| | 基本目標1 すべての子育て家庭を支える まちづくり | 47 |
| | 基本目標2 子どもの育ちを支える まちづくり | 54 |
| | 基本目標3 地域ぐるみの子育て・子育て支援が豊かな まちづくり | 59 |
| 第6章 | 計画の目標値等 | |
| 1 | 教育・保育提供区域の設定 | 65 |
| 2 | 幼児期の学校教育・保育の量の見込みと確保方策 | 67 |
| 3 | 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策 | 72 |
| 4 | 幼児期の学校教育・保育の一体的な提供及び推進方策 | 79 |
| 第7章 | 計画の推進 | |
| 1 | 推進体制の充実 | 81 |
| 2 | 計画の点検・評価に向けて | 82 |
| 資料編 | | |
| 1 | 交野市子ども・子育て会議条例 | 83 |
| 2 | 交野市子ども・子育て会議委員名簿 | 84 |
| 3 | 交野市子ども・子育て支援事業計画策定経過 | 85 |
| 4 | 用語集 | 87 |